

## 解答

- 問一 子どもを一人の人間として認め、それぞれが能力や個性を十分に發揮できるように育てるために、子どもとは何かということを大人が考え続けること。<sup>13点</sup>
- 問二 現実とかけ離れたストーリーによって、本物の浮浪児の自分があまりにもみじめで情けない者だと痛感せられ、絶望を感じざるを得なかつたということ。<sup>13点</sup>
- 問三 子どもを信じてはいるからこそ、安易で心地よさを優先するような終わり方をしない、リアリズムに徹している点。<sup>12点</sup>

- 問一 一 規模 ② 無機質 ③ 裏側 ④ 明示 各3点
- 問二 各6点

## シンポジウムの話

日本語が伝わるはずのない人に、配慮なく日本語で「英語でないと困るか」と語りかけている点。

検収センターの話

人を導くための地図が外に貼り出されているのではなく、その建物内に掲示されている点。

問三 心があるがゆえに他者とのコミュニケーションを求めるが、自分にとって都合の悪い状況においては自分の意思で相手との関わりを拒否できること。<sup>12点</sup>

問四 意識的であれ無意識的であれ、自分の伝えたいことを押しつけてしまい、相手の心に痛みを与えてしまいか。

<sup>11点</sup>